

河南町の人口の現状

令和元年12月

河南町

目 次

河南町の人口の現状

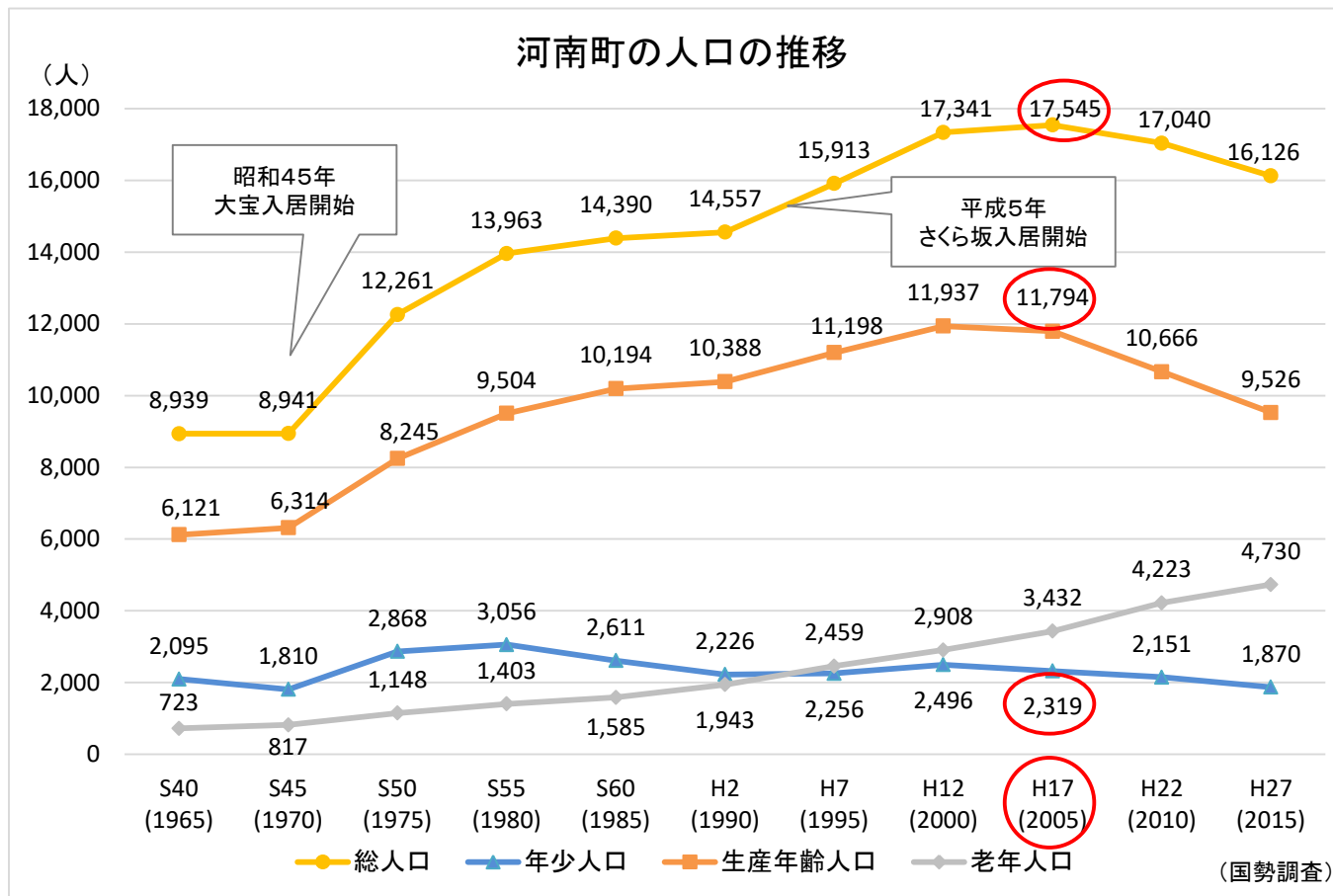
1. 人口	1
2. 自然動態	3
3. 社会動態	5

第2章 河南町の人口の現状

1. 人口

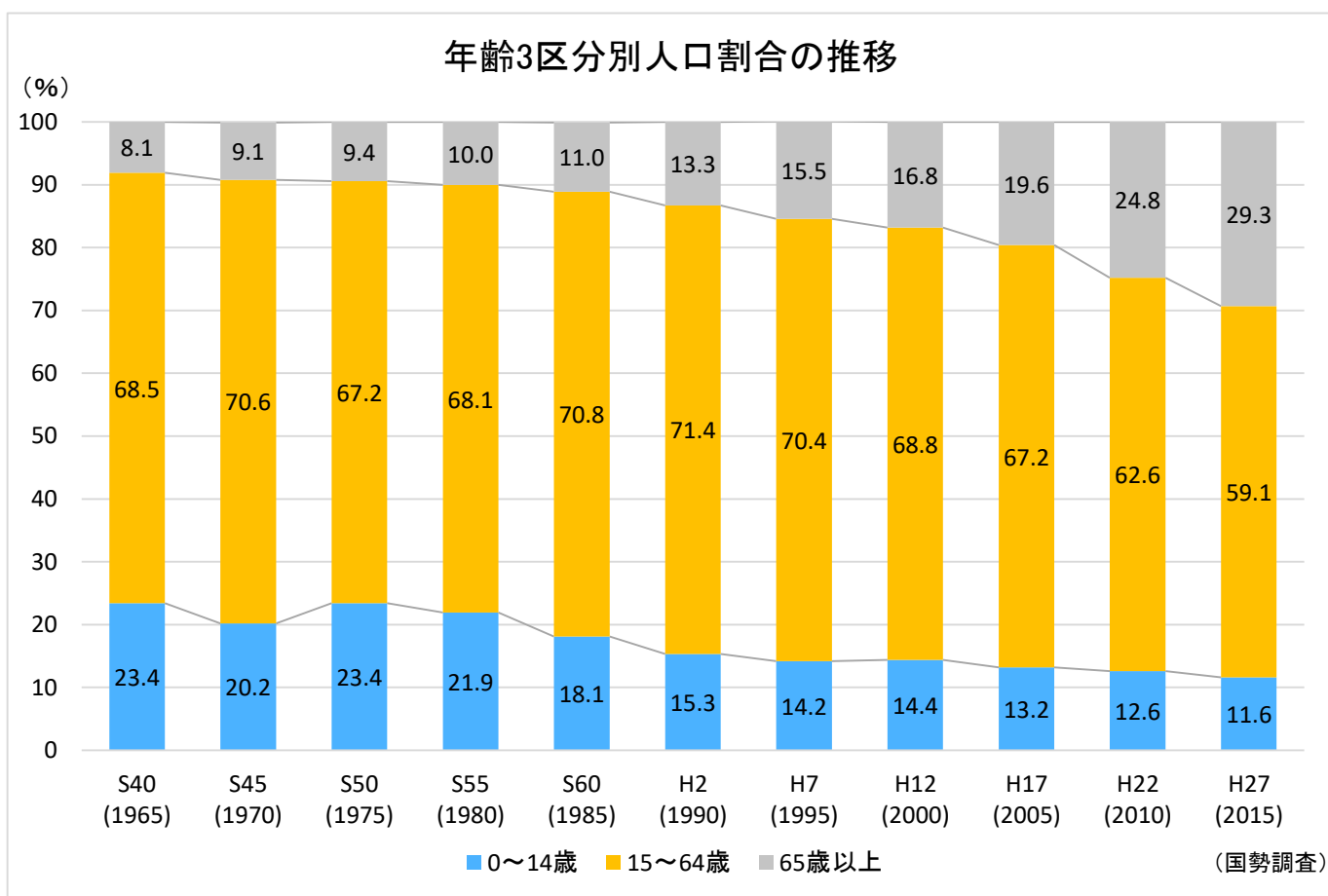
【人口の推移】

- ・昭和31(1956)年の町制施行後、人口は9,000人程度で推移し、大規模住宅団地開発に伴い約2倍に増加した。
- ・総人口のピーク時の平成17(2005)年には、年少人口(0~14歳)・生産年齢人口(15~64歳)ともに減少傾向に転じているが、老年人口(65歳以上)は増加している。



【年齢3区分別人口割合の推移】

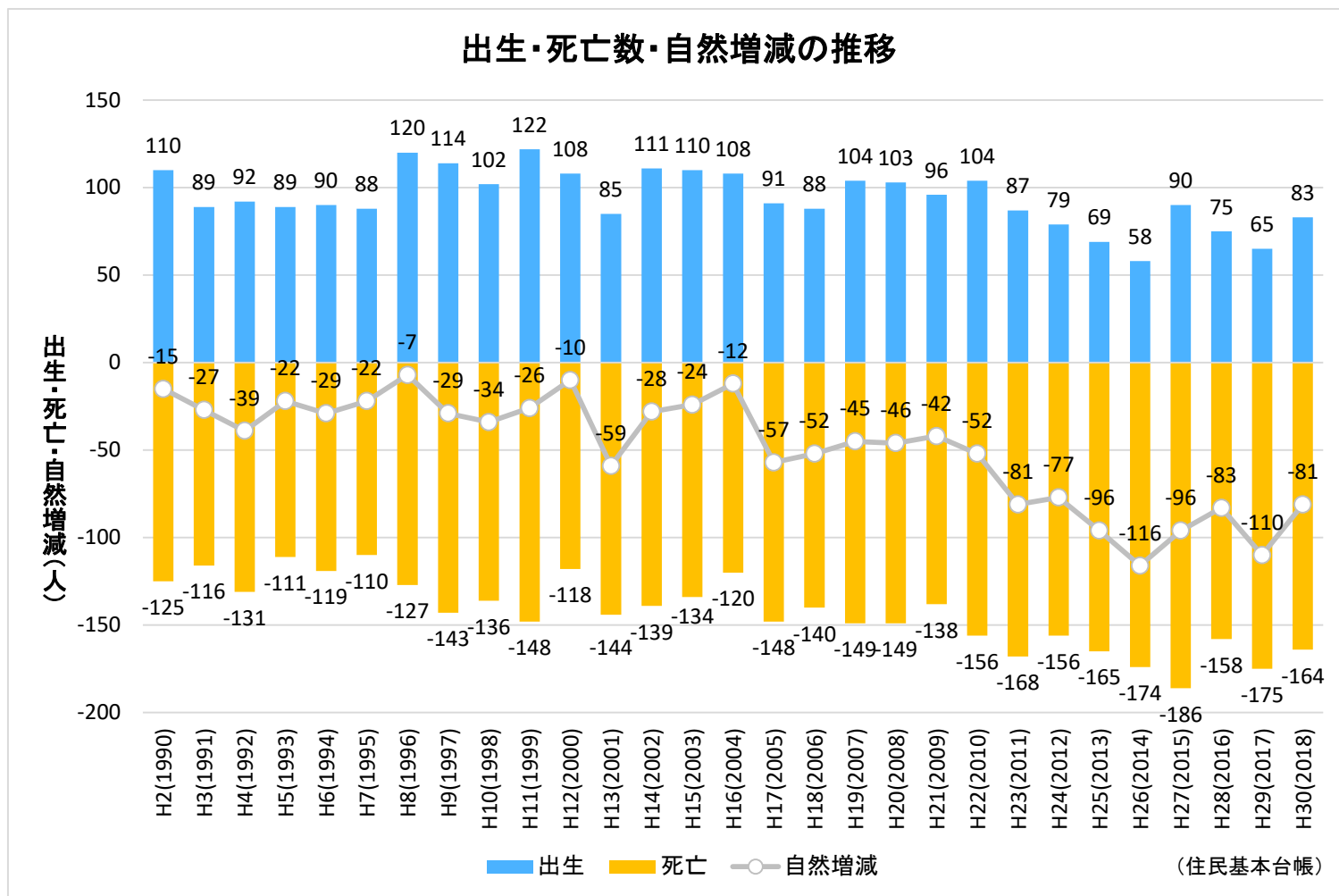
- ・平成27(2015)年の総人口に占める老年人口の割合は29.3%であり、総人口に占める年少人口の割合は11.6%となっている。
- ・昭和50(1975)年以降、総人口に占める年少人口の割合は低下し続けている。



2. 自然動態

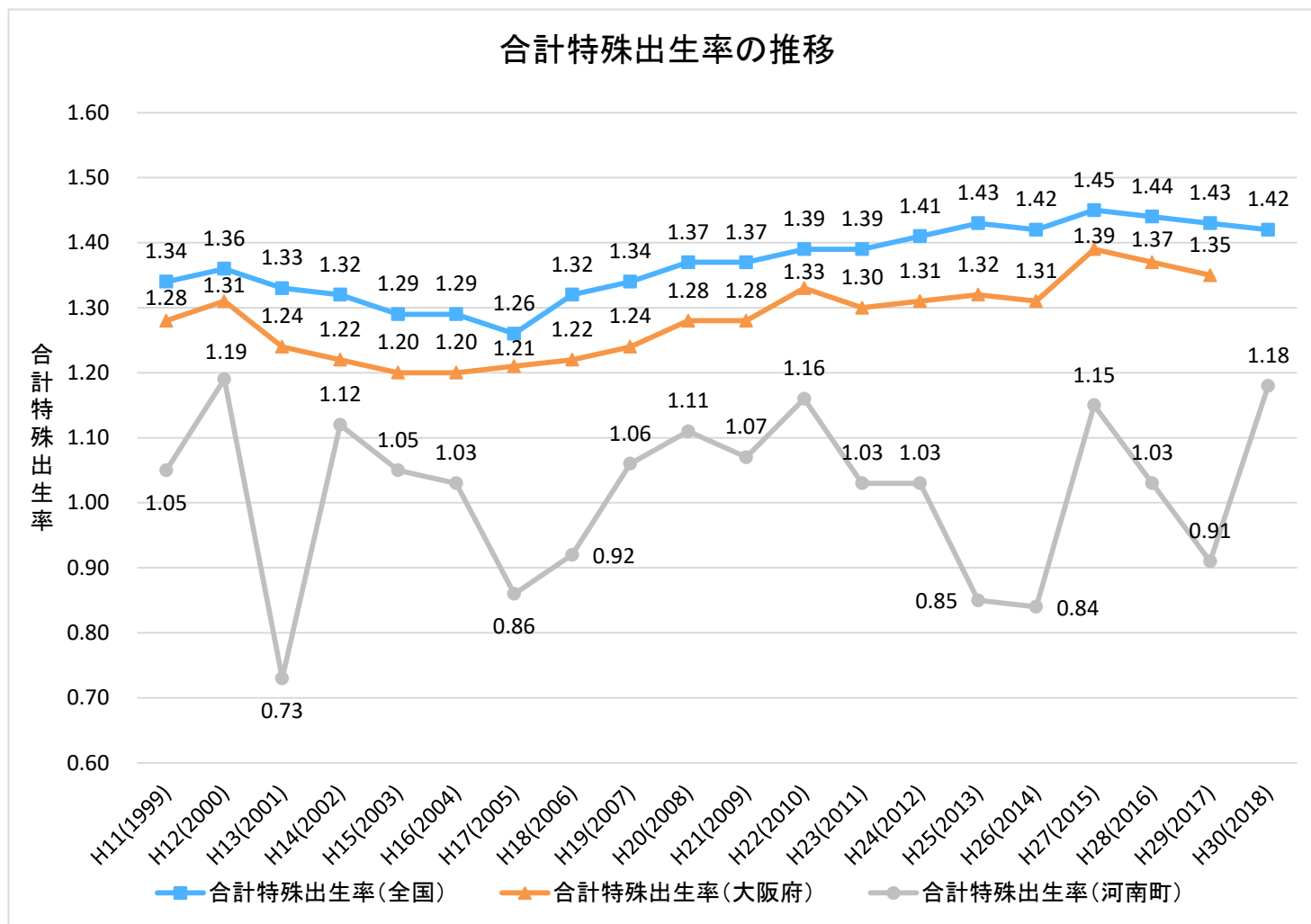
【出生・死亡数、自然増減の推移】

- ・死亡数が出生数を上回っている。
- ・全体として出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向にある。
- ・出生数は100人前後で推移していたが、平成23(2011)年以降は100人を下回っている。



【合計特殊出生率の推移】

- ・河南町の合計特殊出生率は、概ね0.9～1.2の間で推移。平成25(2013)年以降は1.0を下回る年が多い。
- ・国・大阪府より低い傾向が続いている。

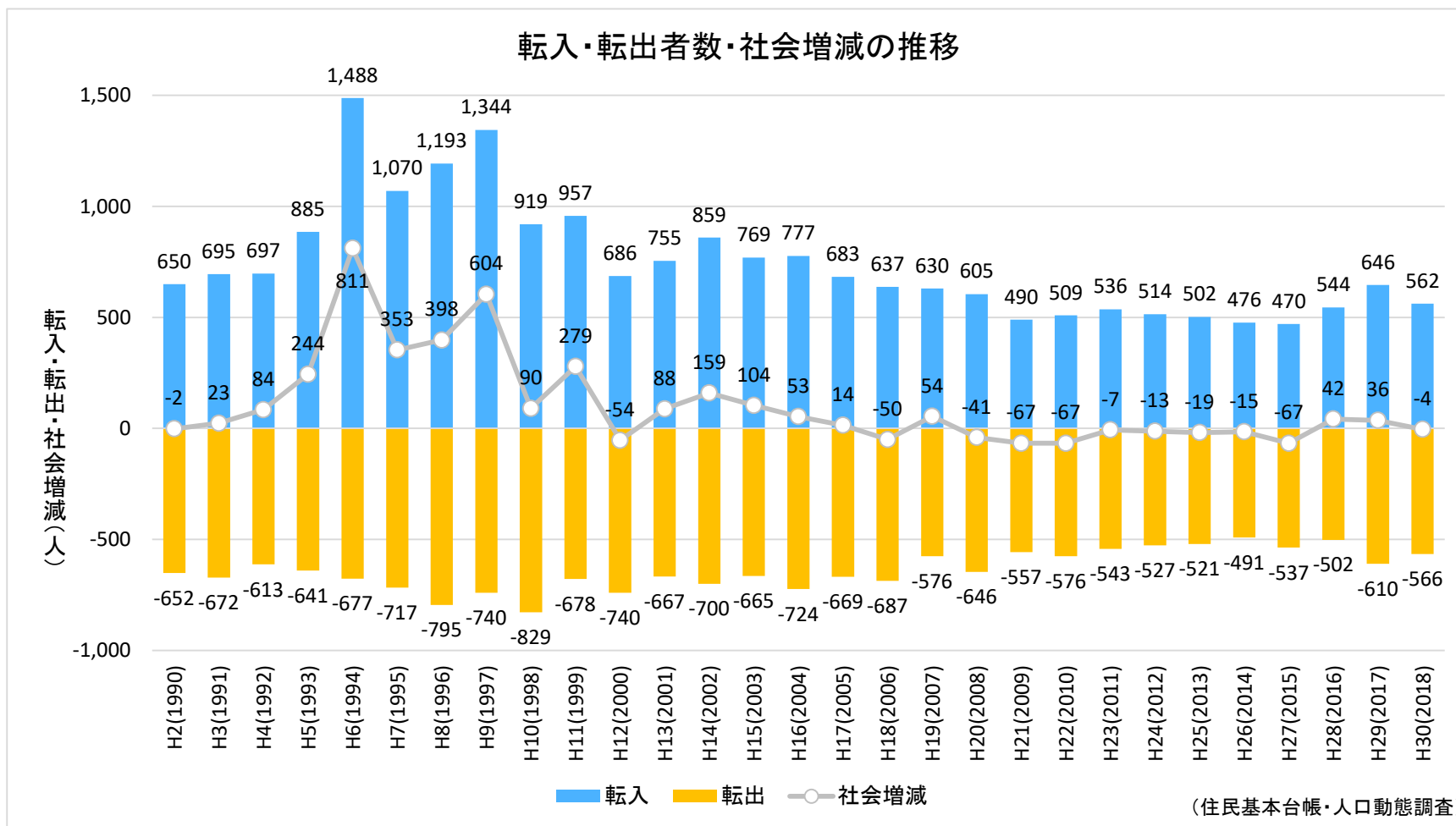


(厚生労働省人口動態調査・住民基本台帳)

3. 社会動態

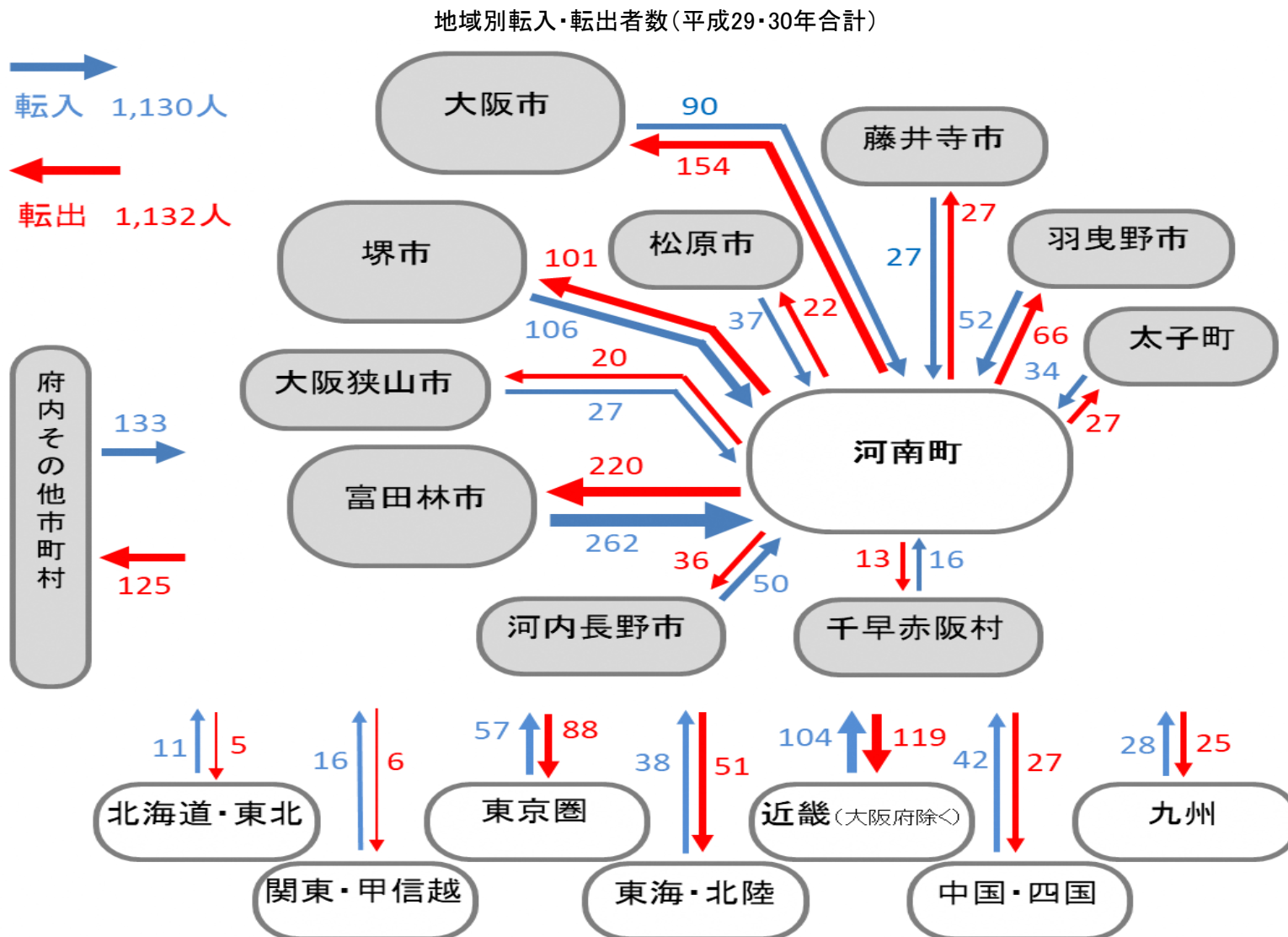
【転入・転出者数、社会増減の推移】

- ・平成20(2008)年以降は概ね社会減の傾向に転じている。
- ・平成23(2011)年以降、社会減は軽減しており、平成28(2016)年～平成29(2017)年に一時社会増となっている。



【地域別 転入・転出者数】（平成29・30年合計）

- ・社会移動は、大阪府内、特に南河内地域での移動が多い。府域外では、近畿、次いで東京圏が多くなっている。
- ・府内で移動が多いのは富田林市、大阪市、堺市、羽曳野市であり、転出超過が多いのは大阪市(-64)、羽曳野市(-14)となっている。



【年齢階層別転入・転出者数】（平成29・30年合計）

- ・20～24歳の転出数が多く、転出超過が顕著となっている。
- ・0～9歳は転入超過となっており、家族（親と子ども）での転入が考えられる。
- ・50歳以降は移動（転出・転入共に）が少なくなる。

